

あおぞら21



熊本地震関連工事契約3件を可決(8月会議)… 2
陳情 国道443号線妙見坂トンネルについて採択… 5

表紙: 150周年を迎えた古閑迫の「寅舞」(記念式典: 8月26日)

8月定例会

30年9月28日

No.132

熊本・みふね町議会

熊本地震関連工事契約 3 件を可決

8月会議を8月9日に開催した。

専決2件、工事請負変更契約2件、工事契約1件の議案5件を審議採決した。また、陳情1件を採択した。

8月議会で決まったこと（8月9日）

議案 号数	簡易議案名	概 要	質疑・討論 の有無	採決 結果
報告 4	専決処分の報告について	災害関連地域防災がけ崩れ対策 (高木⑥) 工事	無	報告
報告 5	専決処分の報告について	普通河川五ヶ瀬川②河川災害復旧工 事	有	報告
議案 44	工事請負変更契約の締結について	災害関連地域防災がけ崩れ対策 (小坂②) 工事	有	全会一致で 可決
議案 45	工事請負変更契約の締結について	中原団地地区宅地耐震化推進滑動崩 落対策施設(その2) 工事	有	全会一致で 可決
議案 46	工事請負契約の締結について	町道小坂線(秋只橋) 橋梁災害復旧 工事	有	全会一致で 可決
陳情 2	陳情書 国道 443 号妙見坂トンネルについて	妙見坂トンネル内照明の照度向上等 の陳情	有	全会一致で 採択

議案45 工事請負変更契約の 締結について

中城議員 中原団地の工事の
進捗状況はどうなっているか。

野口建設課長 40%完了。

中城議員 11月に避難指示解
除で、そして12月に入居予定
だが見通しはどうか。

野口課長 10月29日完了予定
で進めている。

増額変更の内訳は

田上議員 個別の金額はどう
なっているか。

野口課長 排水ドレーンの配
置が360万円増、アンカー延
長が340万円増、町営住宅2
棟の解体が740万円増、側溝
敷設が160万円追加など合計
1,820万円増。

田上議員 なぜ解体が含まれ
ているのか。

野口課長 仮設道を造って機
械を入れる計画だったができ
なかった。

田上議員 残りの中原団地の
解体計画は。

野口課長 解体予定が27戸で

30年度中に解体の工事発注を
計画している。

田上議員 30年度中の解体予
算は取れたのか。

野口課長 30年度の予算の中
で取っている。29年度の繰越
は、中原以外の老朽化した住
宅関係だ。

田上議員 当初予算では29年
度と30年度予算で全ての解体
はできなかった。数棟は翌年
度の計画だったはずだが全て
30年度までに解体する計画と
認識してよいか。

野口課長 30年度内に解体を予定する。

田上議員 解体の完了予定はいつか。11月に入居開始予定なので入居後の解体もあるのか。

野口課長 入居後の解体工事もある。入居者には事前に連絡している。

田上議員 解体工事の車が行きかう中、子どもたちの安全確保は大丈夫か。

本田教育長 工事の進捗状況を見て確認したい。

変更契約が非常に多い

沖議員 変更契約が非常に多い。幾つの工事があって、幾つが変更契約となったのか。

野口課長 熊本地震災害で発注したのは480件ほどある。大概は設計変更の対象になっている。

沖議員 増額になった金額は合計で幾らか。

野口課長 今手元にないので調べて報告する。

沖議員 なぜ準備していないのか。変更契約の件数や金額を把握できていないとはどういうことだ。変更契約が多いのは当初の設計の甘さがある。簡単に変更契約に応じて財政がもつのか。

野口課長 国が出している変更設計ガイドラインをもとに設計変更に対応している。業者の都合による変更は認めていない。

沖議員 課長がそこまで言うなら工期が終わってからの変更契約とはどういうことか。

野口課長 変更契約を出すタイミングが遅かったのは十分反省をしている。

沖議員 副町長から今度からはそういうことがないように

すると答弁があった。しかし、また出てきた。設計業者が自分たちの設計のミスを認めたなら、幾らかの金を出させるとかあるのか。

野口課長 責任を持って最後まで施工ができる設計をしてもらっている。

沖議員 7mの杭を10mに変更、このミスはどこにあるのか。設計料は高く取って自分たちのミスは棚に上げ変更して、またやると。それが大概と受けるほうも受けるほうだ。

本田副町長 陣の場合は終わった工事だったのでお詫びを申し上げた。今回は、まだ継続中の工事で終わったわけではない。増額が出ているが早目に出したことで御理解いただきたい。

沖議員 本設計は自信を持って設計会社がした。工事を入札して物価が上がったから上げてくださないと、これはとんでもないことではないか。金がないと言っている中で設計の甘さは指摘しないのか。

本田副町長 設計の甘さはないと私は信じる。

沖議員 工期を延ばしたのは

行政の立場からか、業者の立場からか。

本田副町長 両方あった。

沖議員 業者の都合ではないのか。自分の会社の規模以上に工事を取るから、工事は終わらない。ほとんどの工期が延びているではないか。

野口課長 増額分をみる、みないは建設業法の中に19条の3というのがあり、民間工事、公共工事問わず、設計協議・変更協議の中で必要と認めたものは、各受注者に払うという規定がある。

沖議員 工期延長が1カ月位なら話はわかるが、半年も延ばす必要があるのか。

反問

本田副町長 沖議員に質問する。では、どうすればいいのか。

沖議員 最初は地元の業者で大抵やってこれた。地元の業者ができないなら町外の業者をお願いする。そして最初から工期を長く取るとかだ。御船町の業者ができないなら広域をお願いして進めるのが筋だと思う。

本田副町長 そのとおりと思



解体が予定されている中原団地の住宅

う。しかし、できれば地元の業者でスムーズにやっていただきたい。

変更契約はいつ議案にするのか

田上議員 変更契約を出すタイミングはどうなっているか。

野口課長 設計協議を経た後に、積算業務に入りでき上がった時点で議案提出となる。

田上議員 解体は5月に終わっていたではないか。

野口課長 実際、現場は終わっていた。中原団地の解体物件の図面を書庫から見つけたが数量が分からなかったので図面から積算した。図面でもわからないところは現地確認や解体前の計測をもとに積算をやった。

田上議員 解体は5月に終わって、金額が出てきたのは最近か。

野口課長 作り上がったのが最近だ。職員が少ないので積算に時間を要した。今回の解体は、会計検査の対象になる。ちゃんと積み上げをし、その価格に応じた価格を算出していく。

田上議員 他の解体とは違うのか。

野口課長 内部は一緒にはなるが土木と建築は経費が性格上違ってくる。

当初予算の答弁と異なる

田上議員 30年度に全部解体してしまうとあった。当初予算の答弁と異なるがいつ変わったのか。議会で答弁した内容を議会に報告なしに勝手に変更している。

野口課長 30年度予算の中で中原団地解体について、確

認をさせていただきたい。

田端議長 確認をするので暫時休憩とする。

中原団地の解体はいつ行うか

野口課長 30年度の予算で11戸、29年度の繰り越しが10戸、なので21戸が30年度内での執行になる。今回工事で4戸を解体したので2戸だけが残ってしまう。

田上議員 結果はわかった。このような変更の報告を議会に対してどこでやるのか。

藤木町長 執行部において協議の中で執り行っていく。最終的には決算議会で出てくる。

田上議員 決算議会は次年度になる。事前に説明がないと無意味である。いつ議会に報告するのか。

藤木町長 できる限りのことは伝えていきたいが増えていけるものを伝えることはできないので、何か疑問があったら、担当課、担当係、そして私にお尋ねいただきたい。

野口課長 災害支援特別委員会で報告をしていく。

変更契約の件数と金額

野口課長 29年度発注件数が193件で、発注額は40億8,892

万9,108円。そのうち変更が92件、27億6,197万86円の増額。

沖議員 約半数増とは異常ではないか。工事が41億円の発注で27億円増に対してどう思うか。

野口課長 がけ事業とか大規模盛土事業関係の施工残価格は高いものになる。その意味で高くなってきている。

沖議員 設計金額の高い安いじゃない。半数以上に27億円の増額補正は27億円余計に払うということだ。税金の無駄遣いだ。

野口課長 この増額は高いと認識をしている。しかし設計変更協議が上がった変更額はみていかなければならない。

沖議員 27億円すべて議会にかけずに何件か伏せてあると思うがどうか。

野口課長 今言われたように、議会にかかっていない部分の変更額も出ている。27億円という数字は、もう1回確かめさせてもらいたい。

会議後の全員協議会での報告

野口課長 再確認の結果、変更総額は2億5,438万218円であった。



変更契約のあった工事現場（中原団地）

陳情 国道443号線妙見坂トンネルについて採択

産業厚生常任委員会副委員長 福永 啓

7月24日産業厚生常任委員会を開き審議した。

野口建設課長から管理主体である上益城地域振興局への確認のもとに現状の説明を受けた。さらに陳情者から現状及び陳情の趣旨を聞き、現地調査を行った。

<委員の意見>

1 6月20日及び7月4日に管理者において照度調査が行われ、一部において照度不足が確認されている。その照明の改修時期はいつか、また53基ある照明器具の全点灯はできないのか。

- 2 照明の設置数は電気料金と関係があるのか。
- 3 視界の問題が原因ではないか。
- 4 中心部の照明器具設置基数が少ないのではないか。
- 5 LEDが設置されているが、費用はどのようなものか。
- 6 白線などで車道と歩道の区別をつけてほしい。
- 7 トンネル内を通学路として許可してあるのか。その通学形態は。
- 8 粉塵が歩道に堆積しているので、対策、清掃をお願いしたい。

審議の結果、別途町に対する要望書を付した上で採択すべきものと決した。



陳情者と現地調査

町に対する要望書

国道443号妙見坂トンネルについては通学路であるとともに、町民生活に密着した生活道路、幹線道路であることから、下記のとおり要望する。

管理者である熊本県と十分な協議を行い、熊本県に対し照度不足対策、通学路安全対策等必要な対策をとるように要望を行うとともに、町としてもできる対策を検討し実行していくこと。

地方創生調査特別委員会報告

地方創生調査特別委員会 委員長 清水 聖

8月27日、第1回の委員会を開催した。

まず、現在町に導入されている地域おこし協力隊員8名の活動状況について説明を受けた。町内の様々な団体に導入され、成果を上げている様子であるが、委嘱期間が3年となっているため、その後の移住定住につなげることが課

題であるとの意見があった。

担当課においては、町内の団体へ地域おこし協力隊を積極的に周知して導入につなげ、地域の活性化を図っていただきたい。

また、震災からの創造的復興を目指した事業として、大規模商業施設の企業誘致計画が進んでいる。しかし、誘致

に伴うインフラ整備等の課題がある中、地方創生の観点から、交付金の活用ができないか検討中であるとの報告を受けた。まだ、検討段階であるため、詳細については不確定であるが、本委員会としては前向きに検討してもらうように伝えた。

議会改革推進特別委員会報告

議会改革推進特別委員会 委員長 福永 啓

議会改革推進特別委員会ではこれまで、議員報酬のあり方について協議し、中間報告を出したところであったが、熊本地震発生により、その協議を一時凍結していたところである。

9月10日9時より委員会室において、議会改革推進特別委員会を開催したところ、御船町の復旧・復興にあたって、議会のさらなる改革推進

は必要不可欠であり、また、来年4月に改選期を迎える本議会としても、町議会のあり方全般に対して、何らかの指針を示し、次の議会に手渡していく事が必要であることなどから、町内外の有識者を含む第三者中心の「町議会のあり方についての検討委員会」設置が提案された。

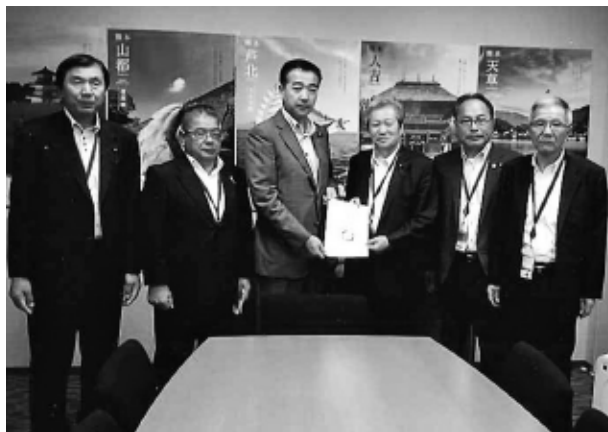
審議の結果、第三者中心の検討委員会を設置するのでは

なく、町内外の有識者や町民等の意見を求めながら、議会改革推進特別委員会において協議し、本年度内を目安に町議会のあり方全般に対する本委員会としての指針策定作業を進める事となった。

今後の協議経過については、また、議会広報等でお知らせしていきます。

九州中央道建設に向けて提言活動

御船町議会議長 田端幸治



藤木参議院議員へ提言書を提出
左から稲田議長(益城町)、田端議長(御船町)、藤木参議院議員、くつき議長(熊本市)、工藤議長(山都町)、緒方議長(甲佐町)

8月1日から3日にかけて九州中央道〔熊本～延岡〕沿線16市町村議会関係者による建設促進に向けた提言活動を実施した。

九州中央道に関しては総延長95kmのうち約45kmが未事業区間であり、全線開通の

見通しが未だ立っていない状況にある。

しかし、この道路は九州の中央を横断し九州縦貫道と接する道路であり、九州の一体的な発展を図る上で極めて重要な役割を担い、物流や観光振興等地域

経済の発展や地震等自然災害発生時における「命の道」として欠かすことのできない重要路線である。

今回は、国土交通省九州整備局、国土交通省道路整備局ならびに地元選出国會議員に対し、以下の事項について提

言活動を行った。

- 1 本路線をはじめとする真に必要な道路を整備するための予算を確保すること。
- 2 九州中央自動車道の整備促進を図ること。
 - (1) 北中島～矢部間の開通予定年度を公表し、早期完成を図ること。
 - (2) 「蘇陽～五ヶ瀬東」間、「高千穂～末市交差点」間の早期事業化を図ること。
 - (3) 「矢部～蘇陽」間、「七折交差点～蔵田交差点」間の計画段階評価の早期完成を図ること等。

更なる支援と新たな取組を要望

御船町議会議員 田端幸治

平成28年熊本地震及び豪雨災害から3年目を迎える中、復旧・復興の更なる進捗と、今後の町づくりに必要な案件に対し、議会として町執行部・熊本県・県選出国会議員に対し要望活動を実施した。

町執行部

- 1 復旧の目処が立っていない農地農業用施設災害の早期復旧（松の生・向山地区取水口含む）
- 2 災害公営住宅の早急な整備と、将来民間譲渡等を視野に入れた建設計画及び既存の住宅で耐用年数超の住宅については

公共施設の適切な運営に努めること。

熊本県

- 1 松の生・向山地区に引水される山都町島木地区^{しゅんせつ}を取水口とした農業用水路復旧の早期着工
- 2 上野インター〔仮称〕開通に伴う周辺県道の早期改良
- 3 一級河川矢形川の浚渫

県選出国会議員

- 1 熊本地震による復旧復興に係る経費に対する

継続的な財政支援

- 2 震災復旧対応職員不足による経費に係る財政支援延長
- 3 農地災害復旧工事の限度額制度の緩和及び見直し

以上、関係機関に対し更なる支援と新たな取組を要望した。



坂本代議士に要望書を渡しました

消防操法大会 県大会優勝！

第4分団第2班

最終ページ「かがやく人」のコーナーでも取り上げていますが、御船町消防団第4分団第2班が、熊本県消防操法大会において「優勝」しました。ここでは、出場選手の喜びの声をご紹介します。

優勝インタビュー

指揮者：大木文隆（小川野）

県大会では、多くの方からたくさんの方の応援をいただきありがとうございました。そのおかげで競技では大きなミスも無くやり遂げることができました。本当にありがとうございました。

1番員：上田篤始（吹野）

1年間練習してきた事が最後

に結果で表れてくれました。選手だけでなく、指導員、協力してくれたみんなで勝ち取った優勝旗だと思います。今年の夏、グラウンドで流した汗はとても忘れられないものになりました。第31回熊本県消防操法大会に御船町の名前が刻まれたことを誇りに思います。

2番員：清村徹（小川野）

優勝できるとは思っていました。メンバーに恵まれていたこと、指導員や分団、本部のサポート、応援に来てくださった皆様のおかげです。ありがとうございました。

3番員：井ノ一義昭（釜出）

昨年の9月から操法競技の練

習を始めて、長期間にわたり練習できた事は、他の消防団員の方の応援、色々な方の協力やサポートがあり、今回県大会へ出場し、優勝することができて、本当に感謝しています。ありがとうございました。選手全員大きな怪我も無く、無事に終わる事ができてよかったと思っています。お疲れ様でした。

補員：西山栄二（釜出）

今回、補員での出場でしたが、班長をはじめ、選手の努力のおかげで県大会という舞台に一緒に立つことができ、本当によかったです。長い間、指導者をはじめ、応援してくださった皆様、ありがとうございました。

移住・定住対策を学ぶ

御船町議会議員 井本昭光



先進事例から対策を学ぶ

①「NPO 法人地域おこし」視察研修

7月19日、新潟県十日町市の「NPO 法人地域おこし」において中山間部の活性化及び地域おこし協力隊について視察研修を行った。

「NPO 法人地域おこし」がある十日町市の池谷集落は平成16年10月に発生した中越地震の被災地でもあり、甚大な被害に見舞われ、一時は6世帯13人まで人口が減少した。

人口の50%以上が65歳以上の高齢者で、いわゆる限界集落となった地域が、震災を乗り越え、若い定住者が増え、マスコミ等では「奇跡の集落」と言われている。

集落再生のきっかけは、震災復旧ボランティアだった。

消滅の危機にあった集落の人々が、これまで経験のなかった若いボランティアとの交流で大きな刺激を受け、若いボ

ランティアは地域の魅力と思い、に共感し定住が始まった。

「NPO 法人地域おこし」の活動の特徴は、行政主体ではなく、地域と民間団体が主体となって活動していることだろう。

行政は活動のサポートに徹しているという印象を受けた。人口減少が著しい御船町中山間の復興においても、大いに参考にすべき事例だった。

②湯沢町 視察研修

7月20日、新潟県湯沢町役場において、移住・定住政策の研修を行った。

湯沢町は、苗場スキー場をはじめ多くのスキー場を有し、スキーバブルの頃は、人口9,000人ほどの町に、年間380万人ほどの観光客が訪れていた。

財政状況もよく、交付税不交付団体であった時期も長い。しかし、スキーバブルが弾け、

観光客は3分の1に激減、立ち並んでいたリゾートマンションの価格も極端に下落し空室が目立つようになった。町は平成27年に人口ビジョンを策定し、充実した数多くの定住施策を実行し、一時は8,100人程度まで減少していた人口もここ2年微増に転じている。

湯沢町では、充実した数多くの定住施策に多くの一般財源を投入しているが、それが出来るのも、豊富な自主財源があるからだろう。

激減したとはいえ、100万人を超える観光客が毎年訪れ、多くのいわゆる外貨を落とし、町の財政力指数は0.9程度を維持している。

また、保・小・中一貫校の設立による教育環境の充実も子育て世代には大きな魅力だろう。

御船町においても大いに参考にすべき点が数多くあった。

8月の議会活動

月日	項 目	参加者	場所等
1日 ～ 3日	九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会提言活動	田端議長	東京都
6日	全員協議会	全議員	審議会室
	正副議長研修会（県議長会主催）	正副議長	自治会館
7日	愛媛県愛南町議会視察受入れ	総務文教常任委員	第2分庁舎
	上益城消防組合定例議会	沖議員 福永議員	上益城消防署
9日	8月議会	全議員	
	議会広報編集特別委員会	委員	議員控室
12日	がぁーっば祭り		
22日	石川県志賀町議会視察受入れ	産業厚生常任委員	審議会室
	議会広報編集特別委員会	委員	議員控室
23日	小川御船間道路整備促進期成会総会	田端議長	宇城市
	主要地方道小川嘉島線整備促進期成会総会		
	御船町甲佐町衛生施設組合議会	井本議員 藤川議員	
24日	九州中央自動車道建設促進地方大会	田端議長	高千穂町
26日	古閑迫寅舞150周年記念式典	田端議長 岩永議員	
27日	災害復興支援特別委員会	全議員	審議会室
	地方創生調査特別委員会	委員	審議会室
28日	御船地区衛生施設組合議会定例会	池田議員 森田議員	
29日	上益城広域連合議会定例会	正副議長	
30日 ～ 31日	九州中央自動車道建設促進期成会要望活動	田端議長	東京都

かがやく

ひと

第31回熊本県消防操法大会 優勝



西山栄二

井ノ一義昭

清村 徹

上田篤始

大木文隆

消防技術の正確さや速さを競う、第31回熊本県消防操法大会が9月2日、山鹿市のカルチャースポーツセンターで開催され、各郡市を勝ち抜いた30市町村40チームが出場しました。

40チームのうち、小型ポンプの部に26チーム、ポンプ車の部に14チームが出場し、本町は小型ポンプの部に第4分団第2班（七滝）が出場しました。

約1年前から、仕事が終わって夜間に練習してきた成果を存分に発揮し、見事初優勝（得点85.5点）を勝ち取ることができました。今回の優勝は、本町自治体消防が始まって以来の快挙です。（岩田重成）

※関連記事を7ページに掲載しています。



編集後記

記録的な猛暑が続いた今年の夏も、ようやく秋の気配を感じるようになった。

平地の水田では、稲穂が色づきはじめ、もうすぐ刈り入れがはじまる。

一方、中山間地域では、農地、農業施設の復旧工事の遅れから、今年も作付けができず、農業従事者の不安の声が高まっている。

こうした状況にある中、議会においては5月に農業災害復旧状況を再調査し、町、県、国へ要望活動を行ってきた。

農業は我が町の基幹産業であり、農業従事者の生産意欲をこれ以上低下させてはならない。また、水

議会の予定10月

- 1日～3日 御船地区衛生施設組合
先進地視察研修
- 2日 上益城消防組合
臨時議会
- 4日 議会運営委員会
熊本県町村議会議員
研修会（県議長会主催）
- 5日 御船町都市計画審議会
全員協議会
災害復興支援
特別委員会
- 11日 議会（予定）
- 27日 上益城郡保育研究大会
- 29日～30日 上益城広域連合
先進地視察研修
- 31日 第3回熊本中央
一般廃棄物処理施設
整備促進協議会

議会広報編集特別委員会

発行責任者	田端 幸治
委員長	岩永 宏介
副委員長	中城 峯雄
委員	岩田 重成
委員	清水 聖
委員	田上 忍
委員	森田 優二

田は地下水涵養の大きな役割を担っており、水田が荒廃すればその影響は都市部にも及ぶという。自然の営みを作り、人と人、都市と農村部をつなぐ農業の早期復旧に、全力を注がなければならない。

中城峯雄